

独立行政法人日本スポーツ振興センター
令和3年度第1回契約監視委員会審議概要

1 開催日

令和3年5月12日（水）14時00分～16時00分

2 開催場所

本部事務所大会議室1

3 出席委員（敬称略）

委員長 相葉 和良（弁護士）

委員 宮本 和之（公認会計士）

委員 小林 順治（監事）

委員 大橋 玲子（監事）

※外部委員はWeb会議システムにより出席

4 議題

- (1) 令和2年度契約案件（令和3年1月～令和3年3月）の事後点検について
- (2) 令和2年度調達等合理化計画の実施結果に関する点検について
- (3) その他

5 審議概要

(1) 令和2年度契約案件（令和3年1月～令和3年3月）の事後点検について

審議対象期間における契約案件147件のうち以下の6件（競争性のある契約3件、競争性のない随意契約3件）を抽出し、競争性の確保等に関する点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

◆契約件名：ハイパフォーマンススポーツセンターにおける宅配業務

契約種別	落札率	応札者数	留意する点検事項
役務	100.00%	1	不落随意契約

(質問) 予定価格の額が前年度と比べて低くなった理由は何か。

(回答) 新型コロナウイルス感染症の影響下にあった前年度実績及び今年度の影響を見越して、前年度より予定数量を少なく見積もったため、予定価格も低くなった。

(質問) 単価契約とのことだが、予定数量に応じて単価は変わるのか。

(回答) 単価については定価となっており、予定数量に応じて変動はしない。

(質問) 3か年度連続で不落随意契約となっているとのことであるが、原因は何であると考え
るのか。

(回答) 業界の状況として人員の確保が難しくなっていることの影響があると思われる。仕
様において特殊な条件は設定しておらず、業務の履行が可能な者は複数いると思われ
る。

(意見) 特になし。

◆契約件名：婦人科用超音波画像診断装置の購入

契約種別	落札率	応札者数	留意する点検事項
備品	16.31%	1	競争入札において応札者が1者のみ 落札率が50%以下

(質問) 調達する機器を選定しているが、応札者以外にも当該機器を取扱う者はいるのか。

(回答) 応札者以外にも複数いると思われる。

(質問) 医療機器は一般的に大幅な値引きがなされることが多いが、予定価格の作成に当た
って過去の類似案件における実績は把握していたか。

(回答) 参考となる類似案件が見当たらず、実績を把握できなかった。契約担当課において
も医療機器は一般的に大幅な値引きがなされとの認識はしていたが、参考見積額の
提示を受けた者にヒアリングをしたところ値引きが見込めなかったため、掛率を1.0
として予定価格を作成した。結果として、企業努力により落札率が低くなった。

(意見) 予定価格の作成に当たって過去の類似案件における実績の把握を試みたのであれば、
契約担当課での取組のひとつとして委員会資料に記載していただきたい。

(回答) 承知した。

◆契約件名：トレーニング映像収録システム等の保守業務委託

契約種別	落札率	応札者数	留意する点検事項
保守	100.00%	1	競争入札において応札者が1者のみ 競争入札において1回目の入札で落札率が95%以上

(質問) 令和2年度からNTCイースト(令和元年度竣工)に設置しているシステムも保守対
象に加えたとのことであるが、別契約としなかった理由は何か。

(回答) 同種のシステムであることから、まとめて調達をした方が合理的かつ経済的である
と判断したためである。

(質問) 過年度より一者応札が続いているとのことであるが、改善する方策として、事前確
認公募を行った上で随意契約とすることは検討したか。

(回答) 仕様について、調達の都度契約依頼課において精査を行っている。その結果、特定
の者でないと業務の履行が不可能であるとのことであれば、事前確認公募を行った上
で随意契約とすることも検討したい。

(意見) 一者応札の改善策として、契約依頼課において仕様内容を精査の上、事前確認公募を行った上で随意契約とすることも検討すること。

(回答) 承知した。

◆契約件名：ハイヤーの借上げ

契約種別	落札率	応札者数	留意する点検事項
役務	100.00%	4	競争入札において1回目の入札で落札率が95%以上

(質問) 最も低かった参考見積額に掛率1.0を乗じた額を予定価格としたとのことであるが、最も低かった参考見積額を提示した者と応札者は同一であるのか。

(回答) 同一である。

(意見) 特になし。

◆契約件名：公用携帯電話及びモバイルデバイス管理ツールの賃貸借

契約種別	落札率	応札者数	留意する点検事項
借上げ	32.10%	1	競争入札において応札者が1者のみ落札率が50%以下

(質問) 資料配付を受けたが応札しなかった者に不参加の理由は確認しているか。

(回答) ヒアリングをしたところ、仕様書の内容を満たすことができないためとのことであった。

(質問) 「導入に係る費用」とは何か。

(回答) 初期設定の作業に係る費用のことである。

(質問) スマートフォン及びタブレットについて、仕様書において機種指定はしていないが、機器仕様がApple社製製品を想定した記載になっている。スマートフォン及びタブレットは他社製の製品も多くあるが、Apple社製製品に限定した理由は何か。

(回答) セキュリティ対策に係るコストを勘案し、Apple社製製品に限定した。

(意見) 過年度に類似案件の調達を行っている場合には、参考として委員会資料に記載していただきたい。

(回答) 承知した。

◆契約件名：災害共済給付請求事務ガイドブック（令和3年度）の作成

契約種別	落札率	応札者数	留意する点検事項
製造	100.00%	6	不落随意契約

(質問) 仕様書において、納入先のひとつについて住所を「未定（契約締結後に指示する）」と記載している理由はなにか。

(回答) 当該者については納入先の候補が同一県内に複数あり、仕様書を作成した時点では具体的な住所が未定であったため、納入先を「未定（契約締結後に指示する）」とした。

(意見) 納入先の地域によって納入に係る費用が変動する可能性もあるので、例えば「〇〇県内」と記載するなど、必要な費用の積算が可能となる記載の仕方を検討していただきたい。

(回答) 承知した。

(2) 令和2年度調達等合理化計画の実施結果に関する点検について

令和2年度調達等合理化計画の実施状況についての自己評価に関する点検を行った。点検の結果、委員からの意見は特になし。

(3) その他

契約案件の事後点検に係る資料及び説明について、より実効性のある点検が可能となるように、本委員会を設置している趣旨も踏まえて見直すよう、委員から意見があった。

6 主な意見

- ・落札率が低かった案件について、予定価格の作成に当たって過去の類似案件における実績の把握を試みたのであれば、契約担当課での取組のひとつとして委員会資料に記載すること。
- ・一者応札が続いている契約案件については、改善策のひとつとして、契約依頼課において仕様内容を精査の上、事前確認公募を行った上で随意契約とすることも検討すること。
- ・過年度に類似案件の調達を行っている場合には、参考として委員会資料に記載すること。
- ・「災害共済給付請求事務ガイドブック（令和3年度）の作成」について、納入先の地域によって納入に係る費用が変動する可能性もあるので、例えば「〇〇県内」と記載するなど、必要な費用の積算が可能となる記載の仕方を検討すること。
- ・契約案件の事後点検に係る資料及び説明について、より実効性のある点検が可能となるよう、本委員会を設置している趣旨も踏まえて見直すこと。